

JARA 発番 28-259 号

平成 29 年 3 月 22 日

公益社団法人日本ボート協会  
強化委員会

## 2017 年日本代表候補最終選考における選手の追加措置について

来る 3 月 27 日（月）～30 日（木）の間に予定されております「2017 年日本代表候補最終選考」において、去る 3 月 14 日（火）に行われた最終選考予選を棄権した選手が出漕します。そのことについて以下のとおり説明いたします。

### 記

#### 1. 選手の追加措置

3 月 14 日（火）最終選考予選において、レースを棄権した選手の内、11 月のロングレース、12 月の 2K エルゴ及び合宿中の高いパフォーマンスが確認できた選手で、かつやむを得ない身体的理由（外傷障害・病気）が確認された男女数名の選手を強化委員会の判断にて最終選考に追加します。

（理由）

「強い代表チーム」を創るためには、各選手の選考プロセスにおけるパフォーマンスを適正に評価する必要があるため。

#### 2. 出漕方法

- (1) 男子軽量級の選手については、体重を管理してオープンレースに参加する。  
なお、レースの結果が他の軽量級選手と比べて良いものであれば、次のステップで継続的に評価する。
- (2) 女子軽量級選手については、エントリー数が 24 人に満たなかったため、そのまま軽量級レースに参加する。

#### 3. 今回の措置に対するギザビエ・ヘッドコーチからのメッセージ

- (1) 今回の措置は全員に対して考えているところではありません。そういうレベルになるにはキャンプなどで自分のパフォーマンスをしっかりとコーチに示すことが大事です。
- (2) 選考レースはもっとも重要なイベントですが、選考プロセスは決して一日ではありません。冬のシーズンや合宿で行ってきたような **6K**、**2K** やその他のトライアルの結果などでも選手を客観的に評価しています。このようなデータを把握した上でこのような措置を取るかどうかを判断します。
- (3) 改めて皆さんに認識していただきたいのはより強いサポートはより強い選手に対して行うということです。このようなケースは毎年毎年個々のケースで違ってくるかもしれませんが、最も大切なことは強いクルーを作って世界に送り出すことです。

以上